



## 「考えること」「伝えること」の大切さ

校長 今村 行道

4年生が図工の授業で、絵の具を使っていろいろな色づくりをしているときの一コマです。

「これ、めっちゃ、楽しみな時間！」

筆についた絵の具を、筆洗バケツに入れたきれいな水で洗う際に聞いた言葉です。「最後に（いろいろな色が）まざるじゃん。これが好き！」「健康野菜スムージーみたい！」画用紙に描かれた鮮やかな色彩だけでなく、絵の具を洗った際に生まれる水の色彩にも興味をもっていることが驚きでした。この瞬間、子どもはまさに考え、それを友達に伝えていました。

現在、本県に対し、まん延防止等重点措置が適用されており、本校の教育活動においても様々な配慮を行っています。4月26日に実施する予定だった6年生の国会見学も9月以降に延期させていただきました。また、4・5年生の宿泊体験学習も延期する方向で調整に入っています。このような状況ですが、子どもが豊かに学ぶ環境は、できる限り整えたいと思っています。

始業式の際、子どもたちに伝えたのは、「考えること」「伝えること」の大切さです。自ら感じた驚きや新たな発見をもとに考え、それをいろいろな形で伝え、表現していくことが「学び」となっていきます。そして、子ども自身が発見した「学び」を「新たな学び」につなげ、確かな「学力」に結び付けていくのが教師の役目です。いろいろな可能性を秘めた子どもの「つぶやき」を紡いでいく教師集団を目指していきたいと思っています。